

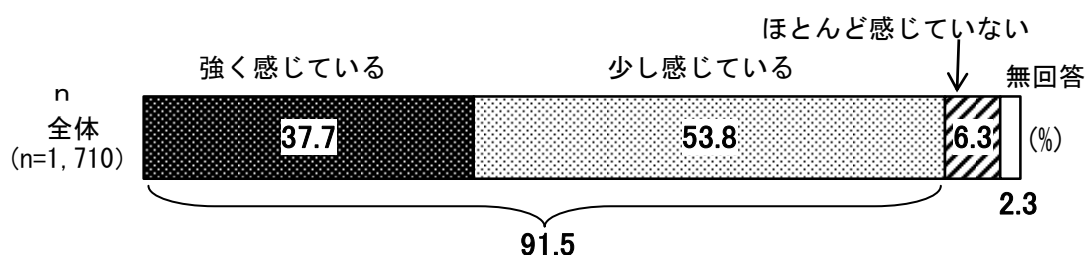
1 防災意識について

(1) 大地震に対する不安

◇『感じている』が9割を超える

問1 今年6月にマグニチュード7.2の岩手・宮城内陸地震が発生しました。あなたは、自分の住んでいる地域で、このような大地震が起こるのではないかと不安を感じていますか。(〇は1つ)

<図表1-1>大地震に対する不安



自分の住んでいる地域で、今後大地震に対する不安があるかどうかを聞いたところ、「強く感じている」(37.7%)と「少し感じている」(53.8%)を合わせた『感じている』(91.5%)が9割を超える。(図表1-1)

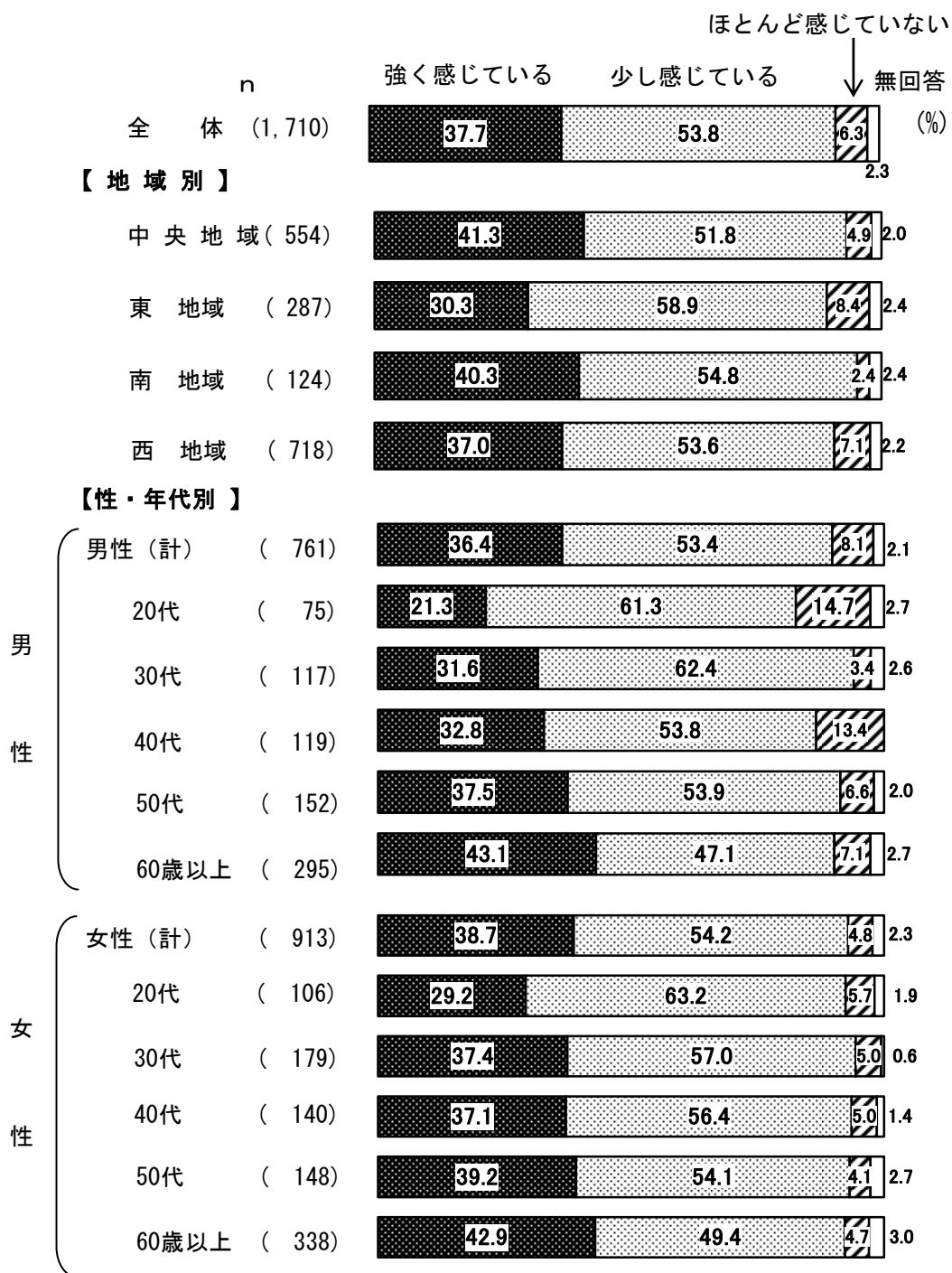
【地域別】

地域別でみると、『感じている』は、“中央地域”(93.1%)、“南地域”(95.1%)で9割台半ばになっている。(図表1-2)

【性・年代別】

性・年代別でみると、『感じている』は、男性の30代(94.0%)で9割台半ば、50代(91.4%)、60歳以上(90.2%)で9割を超えている。また、女性では全年代が9割以上となっている。(図表1-2)

<図表1-2>大地震に対する不安／地域別、性・年代別

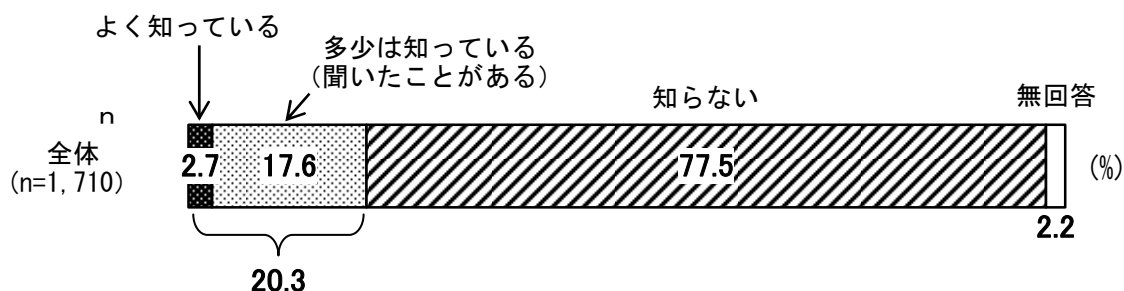


(2) 地震被害想定調査の認知度

◇『知っている』が2割

問2 県では、平成19年度に地震被害想定調査を実施し、平成20年6月に千葉県のホームページ等でその調査結果を公表しました。あなたは、この調査が実施されたことを知っていますか。(〇は1つ)

<図表1-3>地震被害想定調査の認知度



「地震被害想定調査」の認知度を聞いたところ、「よく知っている」(2.7%)と「多少は知っている(聞いたことがある)」(17.6%)を合わせた『知っている』(20.3%)が2割である。一方、「知らない」(77.5%)は約8割となっている。(図表1-3)

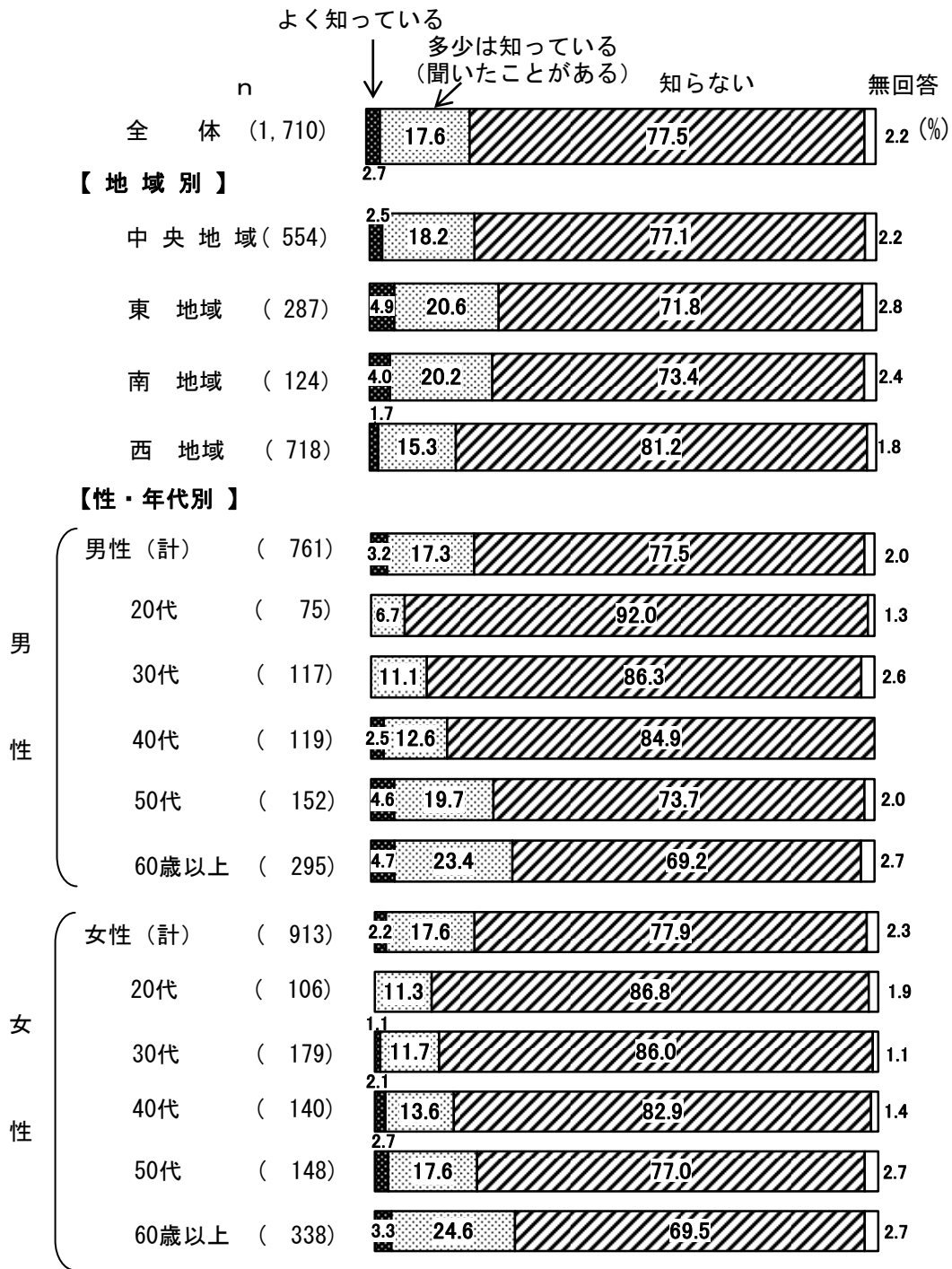
【地域別】

『知っている』は、“東地域”(25.4%)、“南地域”(24.2%)が2割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。(図表1-4)

【性・年代別】

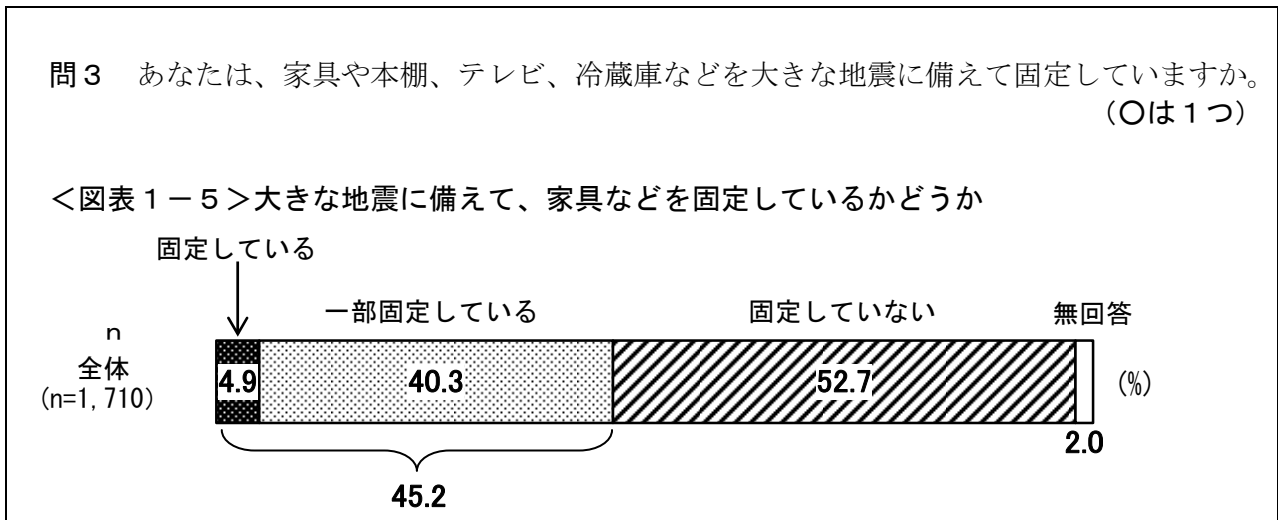
『知っている』は、男性60歳以上(28.1%)、女性60歳以上(27.9%)で、約3割で他の年代に比べて高くなっている。(図表1-4)

<図表 1-4> 地震被害想定調査の認知度／地域別、性・年代別



(3) 大きな地震に備えて、家具などを固定しているかどうか

◇『固定している』が4割台半ば



大きな地震に備えて家具などを固定しているかどうかを聞いたところ、「固定している」(4.9%)と「一部固定している」(40.3%)を合わせた『固定している』(45.2%)が4割台半ばである。一方、「固定していない」(52.7%)は5割を超える。(図表1-5)

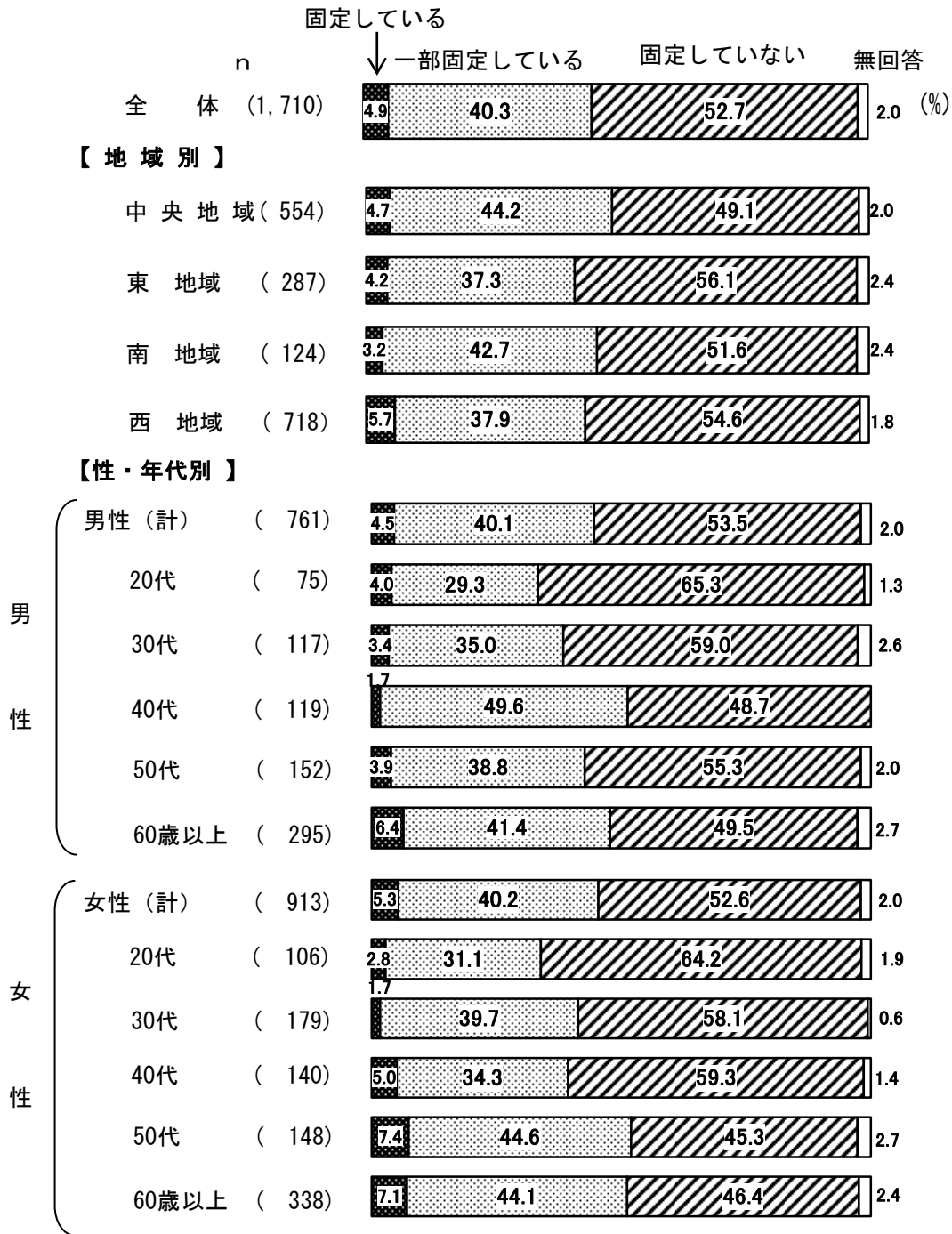
【地域別】

『固定している』は、“中央地域”(48.9%)で約5割となっている。(図表1-6)

【性・年代別】

『固定している』は、男性の40代(51.3%)、女性の50代(52.0%)、60歳以上(51.2%)で5割をこえ、他の年代に比べて高くなっている。(図表1-6)

<図表1-6>大きな地震に備えて、家具などを固定しているかどうか／地域別、性・年代別

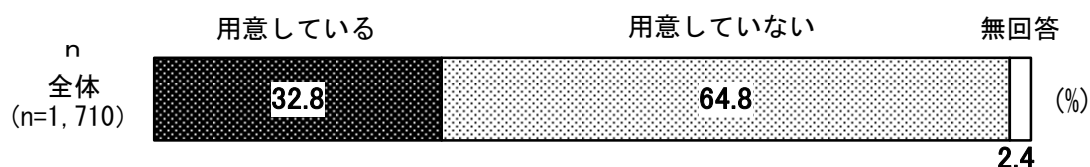


(4) 災害時の非常持ち出し袋を用意しているかどうか

◇「用意している」が3割を超える

問4 あなたは、大地震に備えて災害時の非常持ち出し袋を用意していますか。(○は1つ)

<図表1-7>災害時の非常持ち出し袋を用意しているかどうか



災害時の非常持ち出し袋を用意しているかどうかを聞いたところ、「用意している」(32.8%)は、3割を超える。一方、「用意していない」(64.8%)は6割台半ばとなっている。(図表1-7)

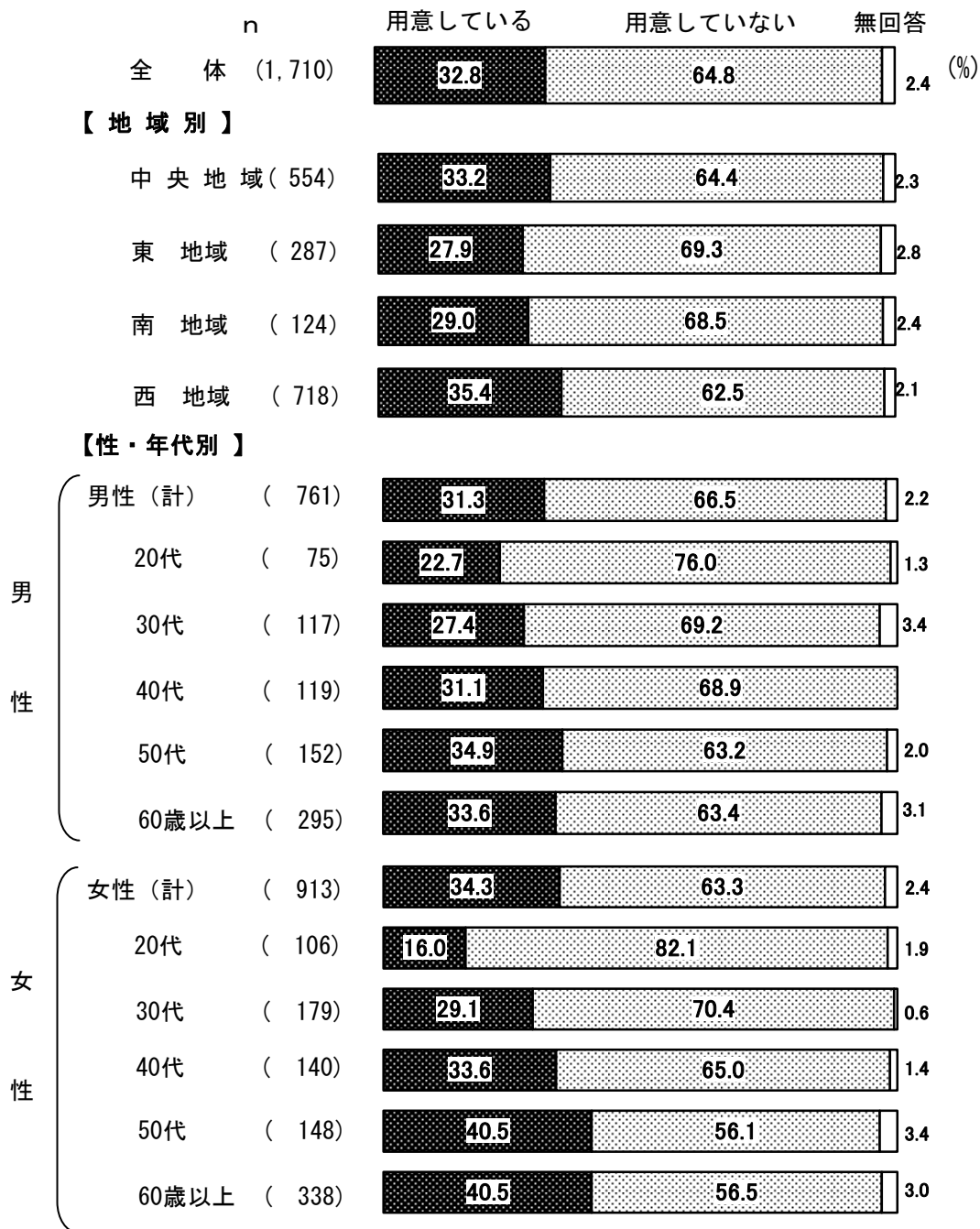
【地域別】

各地域とも「用意している」は3割前後となっているが、“中央地域”(33.2%)、“西地域”(35.4%)が3割台半ばに対して、“南地域”(29.0%)、“東地域”(27.9%)は約3割になっている。(図表1-8)

【性・年代別】

「用意している」は、男性の50代(34.9%)、60歳以上(33.6%)で3割台半ばである。また、女性の50代(40.5%)、60歳以上(40.5%)で4割を超えている。女性の20代(16.0%)は1割台半ばにとどまっており、他の年代に比べて低くなっている。(図表1-8)

<図表 1-8> 災害時の非常持ち出し袋を用意しているかどうか／地域別、性・年代別

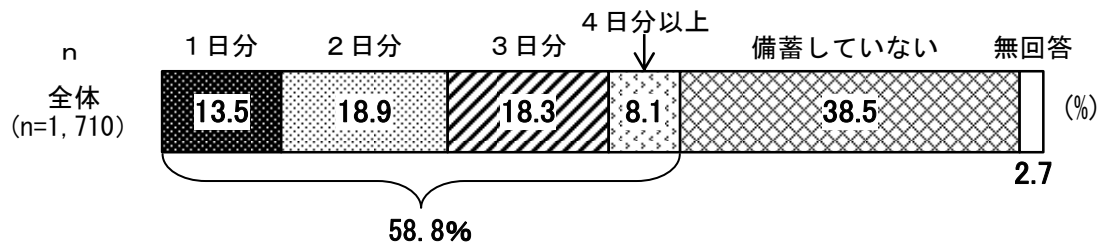


(5) 大地震に備えて飲料水や食料はどのくらい備蓄しているか

◇約6割が飲料水や食料を備蓄している

問5 大地震が発生した場合、避難所に水や食料などの支援物資が届くには、時間がかかることが予想されます。あなたは、大地震に備えて飲料水や食料はどのくらい備蓄していますか。(○は1つ)

<図表1-9>大地震に備えて飲料水や食料はどのくらい備蓄しているか



大地震に備えて飲料水や食料はどのくらい備蓄しているかを聞いたところ、「1日分」、「2日分」、「3日分」、「4日分以上」を合わせた『備蓄している』(58.8%)は約6割である。最も高いのは「2日分」(18.9%)で約2割であった。(図表1-9)

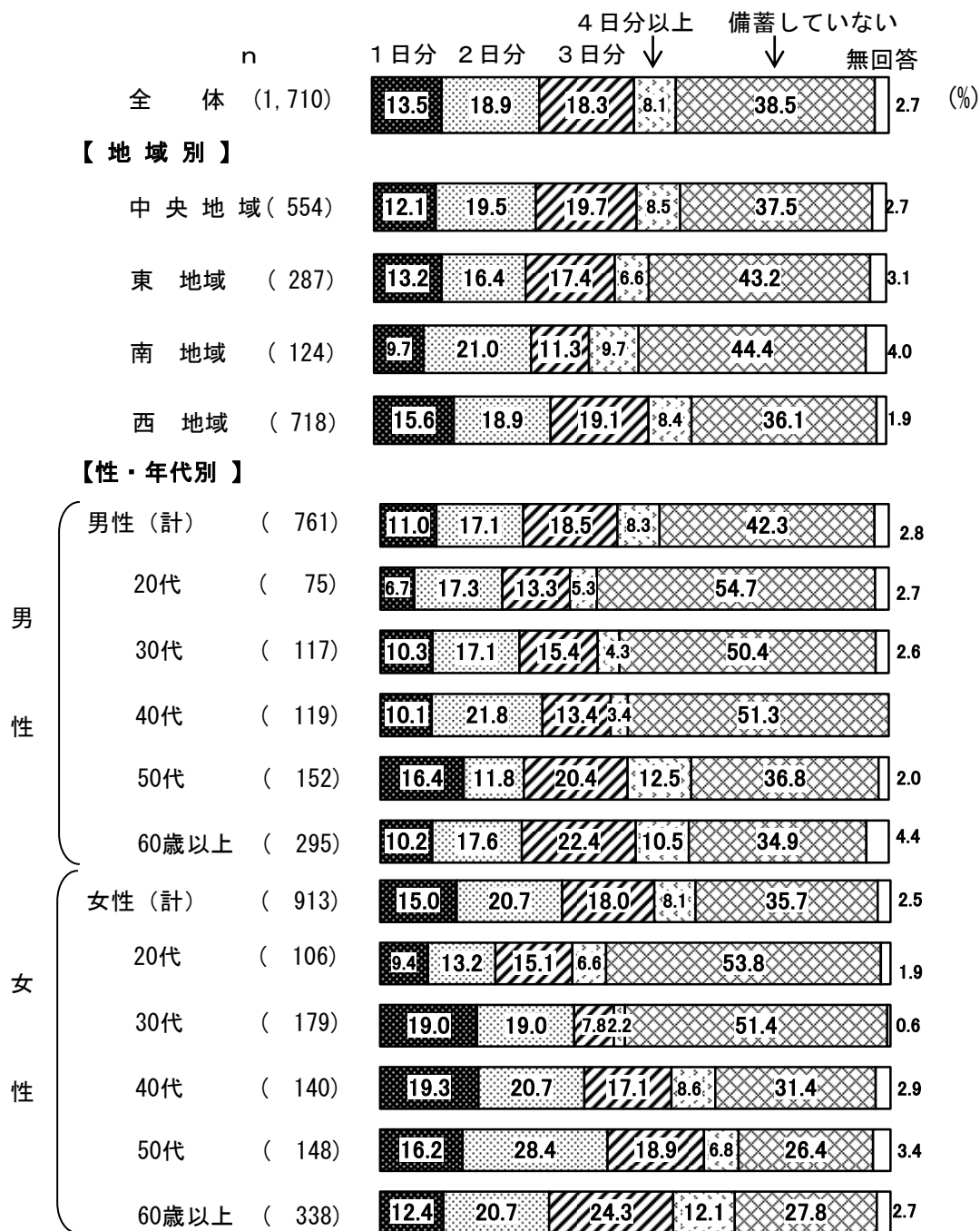
【地域別】

「1日分」、「2日分」、「3日分」、「4日分以上」を合わせた『備蓄している』は、“西地域”(62.0%)は6割を超え、中央地域(59.8%)が約6割である。(図表1-10)

【性・年代別】

年代が高くなるにつれて、『備蓄している』は高くなる傾向である。(図表1-10)

<図表1-10>大地震に備えて飲料水や食料はどのくらい備蓄しているか／地域別、性・年代別

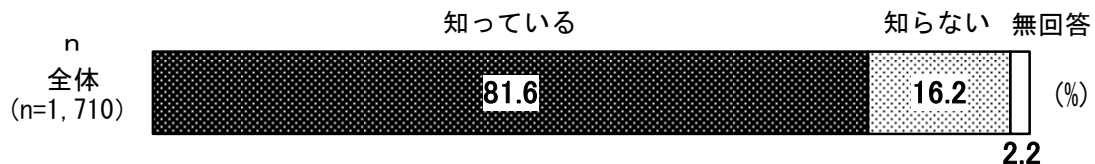


(6) 近くの避難場所の認知度

◇「知っている」が8割を超える

問6 市町村では、住民を災害から守るために避難場所をあらかじめ指定しています。
あなたは、お住まいの近くの避難場所を知っていますか。(○は1つ)

<図表1-11> 近くの避難場所の認知度



近くの避難場所を知っているかどうかを聞いたところ、「知っている」(81.6%)は、8割を超える。一方、「知らない」(16.2%)は1割台半ばとなっている。(図表1-11)

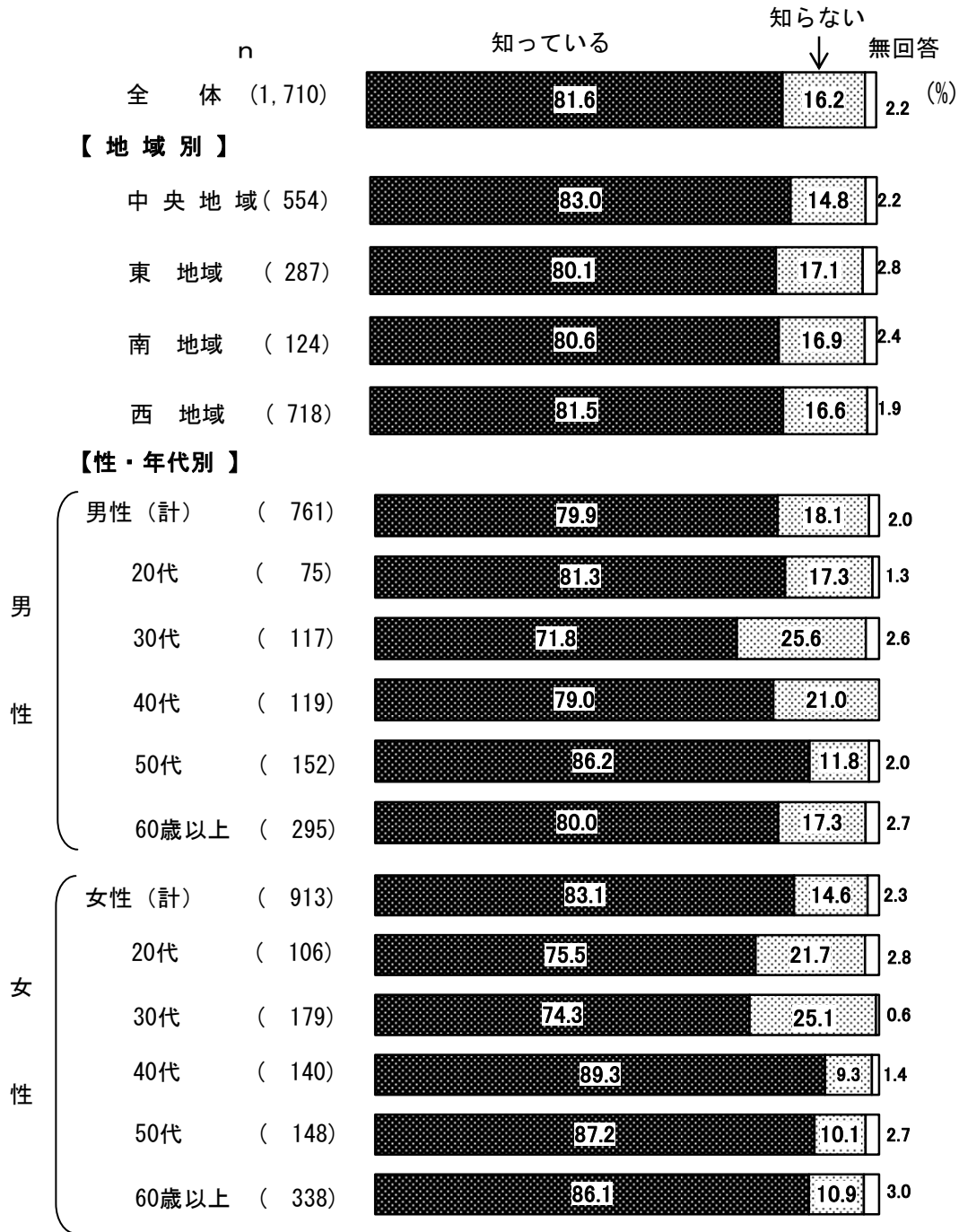
【地域別】

「知っている」、「知らない」は、地域別に大きな差は見られない。(図表1-12)

【性・年代別】

「知っている」は性・年代別で見ると、男性の50代(86.2%)で8割台半ばであり、女性の40代(89.3%)が約9割で最も高い。「知らない」は、女性の30代(25.1%)が2割台半ばで最も高い。(図表1-12)

<図表 1-12> 近くの避難場所の認知度／地域別、性・年代別

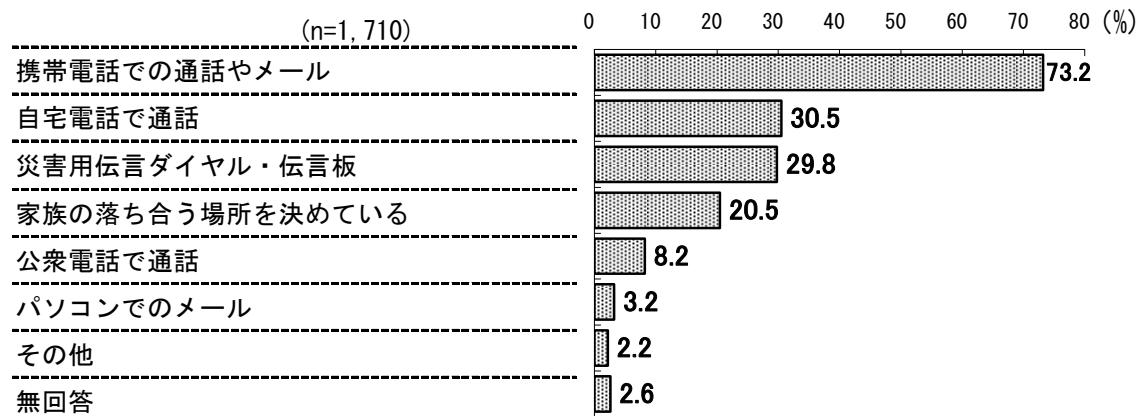


(7) 大地震時の家族への安否確認方法

◇「携帯電話での通話やメール」が7割台半ば

問7 あなたは、大地震が起き家族が離れたところにいる場合、家族の安否確認はどのような手段で行いますか。(〇はいくつでも)

〈図表1-13〉大地震時の家族への安否確認方法



大地震時の家族への安否確認方法を聞いたところ、「携帯電話での通話やメール」(73.2%)が7割台半ばとなり最も高く、ついで「自宅電話で通話」(30.5%)、「災害用伝言ダイヤル・伝言板」(29.8%)が続く。(図表1-13)

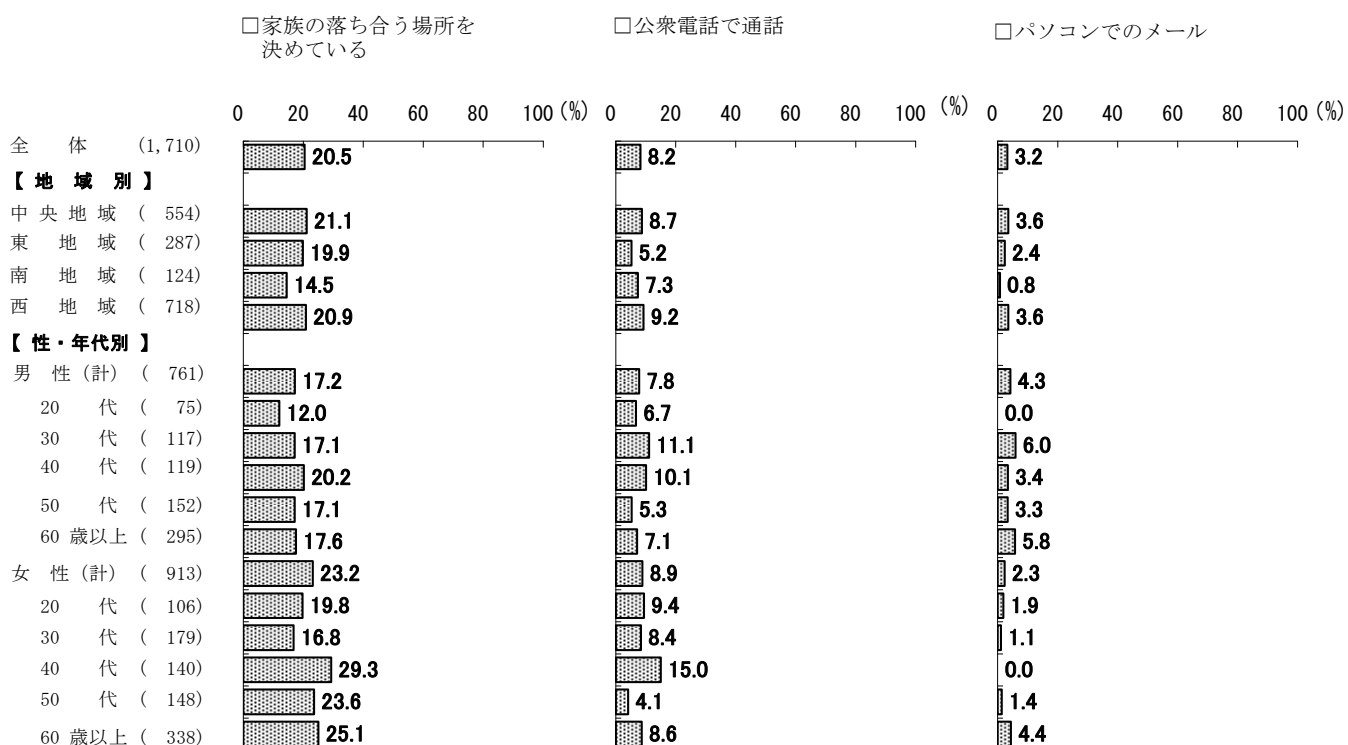
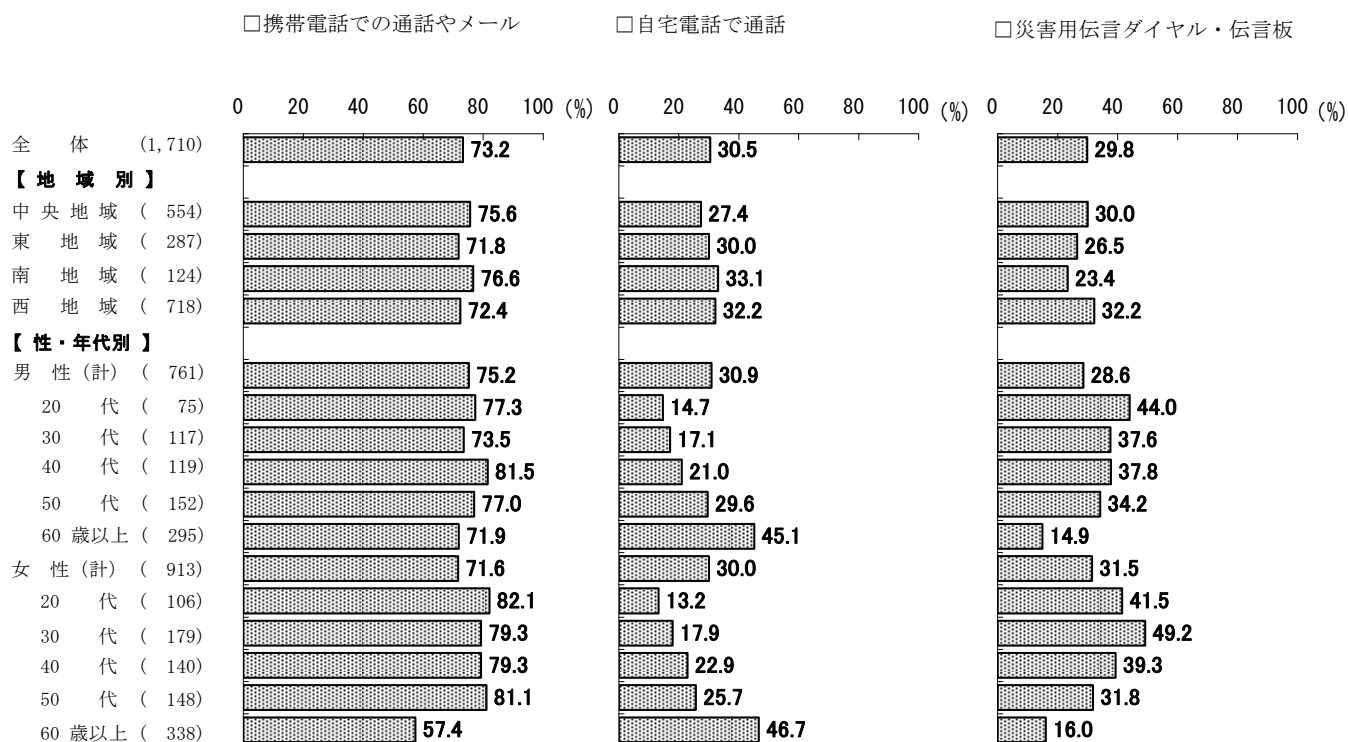
【地域別】

上位2項目では大きな差はみられないが、「災害用伝言ダイヤル」は“西地域”(32.2%)で最も高く、“南地域”(23.4%)で最も低くなっている。(図表1-14)

【性・年代別】

「携帯電話での通話やメール」は、男性の40代(81.5%)、女性の20代(82.1%)、女性の50代(81.1%)で8割を超える。反面、女性の60歳以上(57.7%)は他の年代と比較して低くなっている。「自宅電話で通話」は、男女共に年代があがるにつれて比率が上昇している。「災害用伝言ダイヤル」は、男性の60歳以上(14.9%)、女性の60歳(16.0%)が1割台半ばとなり、最も低くなっている。(図表1-14)

<図表 1-14>大地震時の家族への安否確認方法／地域別、性・年代別（上位 6 項目）



問 「防災」やここまでの質問（問1～問7）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、235人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載した。

■「防災意識について」の自由回答（抜粋）

- 足の不自由な高齢者と同居している。避難場所は6km離れた中学校なので、実際に行くのはムリ。自宅にいるしかないかも。昼間家に独りなので、家族が不在の際、非常に心配です。（女性・40代・中央地域）
- 実際、小さい子供がいると、子供を連れ出すだけで精一杯と思います。持ち出し袋の中身は最低限で、全く足りないと思います。（女性・30代・西地域）
- 道路が狭く、車は多く、古い家の倒壊などで避難場所まで辿り着けるかが心配。（男性・60歳以上・西地域）
- 子供がほとんどの時間を過ごす学校の耐震は大丈夫なのか心配です。（女性・40代・西地域）
- 近くの避難場所に行くと思いますが、あぶれてしまうと思います。収容人数を超えてしまう気がします。（女性・20代・西地域）
- 地震等が発生し家屋被害により避難行動の必要が発生した場合に備え、「避難行動手引書」なるものがあれば常日頃頭に入れて準備の気持ちが持てると思います。（男性・60歳以上・東地域）
- 地域単位（特に老人を含め）の防災訓練の必要性。（男性・60歳以上・中央地域）
- 地震は外出時か在宅時か、また昼か夜かでも状況はさまざまです。私は現在75歳1人暮らしで娘家族が10分くらい離れた所に住んでいます。食糧の備蓄、また3階、エレベーターなしの所に住んでいます。（女性・60歳以上・西地域）
- 県または市で防災・地震に関する非常持ち出しに用意する品物等を販売するところをPRして下されば、対応を動機付けできると思う。（男性・60歳以上・西地域）
- 家にPCなどが無い家もあるので、県民全員にきちんとした情報が届くようにしてほしい。（女性・30代・西地域）